シンポジウム2014を

産学協同就業力育成

になる」とした。また、

践する『主体性』が重要

ます。シンポジウムでの

第一部副部長)、斎藤誠

と思う」「大学と企業が

一体となれると思う」

の講座で学生の変化を感

企業の中には「3回目

「社会的に価値があるこ

わってきた。今後も継続

じた。学生の目の色が変

っかけをつくるのがいいての感想等が出された。

二氏(サントリーホール

FSP講座の成果とし

ills Project 研究会

実践する~ Future Sk 創る『主体的な学び』を

く必要がある。自分の目

「学びの方法を変えてい

標を自分で見いだして実

的な学び』が未来を創り タルランド人事本部人事

4年間の挑戦~] と題

都千代田区)で、「未来を

のでは遅いとした上で、 を想定して教育していた 郎理事長)は平成26年11 SP)研究会(安西祐一 Skills Project (F

する世界では今ある世界

安西理事長は、多極化

般社団法人Future

が行われた。

ていただきます。『主体 横山政司氏(㈱オリエン らFSP講座のようなき ら、4年間の実践を終え

ラス製薬㈱人事部長)、

未来を創る「主体的な学び」を実践する、マデ

FSP講座の実践等報告

ッション、実践報告など 考え、共有する場とさせ

S P

研究会4年間の挑戦

から、関根輝氏(アスティんだのか?」をテーマに

長が務めた。

理解してもらうことだと

究会事務局の平山恭子局 の能力に気づく。これを

ナビゲーターはFSP研 センター教授)が参加、

は1年で社会に出るため た、大学側からは「学生

熱気に驚いた」「正解の

ていると思った」 思う。企業の方も頑張っ

企業、大学の双方か

企業側からは「学生の

ない社会では大学1年か

産学協

同就業力容

育成シンポジウム2014

どが忙しい中、お集まり 活躍している部長さんな

いただいて、「肝胆相照

し、これは中学校(第49

形態を発見し、実践する

基礎的な学問をやるべき

を開発した。

討が完結することはな

の最後には「リアクシ ことだと説明するとと

nesse.jp/univ/fsp

http://www.be

対して私立は79・4%。

については「推薦・AO

「学生間の学力差が大き 受験者は基礎学力が不足

授業がしづらいこ している」と認識してい

びを有意義にすること

を狙いに、FSP講座 中に議論や解決策の検 えからだ。毎回、授業 ギャップに気づかせる

テーションする。授業 ることが重要という考 は社会で必要な力との

学生には講座の狙い se.co.jp

体的に学習に取り組む態 項(小学校の章)では「主

は人事開発部の第一線で

ラスの方々と、企業から

学校教育法の第30条2

て、大学からは学部長ク

とです。

月19日、明治大学(東京

西理事長のあいさつと問

シンポジウムでは、安

育っていることを報告し

て、約2千人の受講生が

か」とあいさつした。 議論を糧に希望に満ちた

本部長)が、大学側から ディングス㈱人事本部副

未来を創っていきません

た上で、「これからの時

ッションは、「なぜ企業

学部長)、深澤晶久氏(実

ど、教育現場で教える理 にもつながる」---とだと思う。社員の育成

きな感想が聞かれた。 して頑張りたい」と前向

第一部パネルディスカ 横井勝彦氏(明治大学商

が『教育現場』に足を運

層を

的な方策はもっていない

こいうのが、私の考えで

人材育成についての具体

は産学連携といっても、

しょうか。大学と産業界

これからの時代に求められるのは、 自分で別だ実践する『ヨ

授を経て、

Future Skills Project 理事長 - 年同大学理工

インタビュー

ツ

1~09年慶應義塾 研究科委員長、200 学部長・大学院理工学

【プロフィル】 1974年慶應義塾 日本学術振興会理

博士課程修了、北海道 長。現在、独立行政法 應義塾大学理工学部教 事長。中央教育審議会 大学文学部助教授、慶 人 大学大学院工学研究科 1993 会長などを務める。

会は大学生に大学の授業で「主体性」を発揮する経験をさせるために、大学と企業が連携して、FSに求められるのは、自分の目標を自分で見いだして実践する『主体性』である』と熱く語る。同研究 っていただいた。 P講座を実践している。 安西理事長に同研究会立ち上げの趣旨やF S P 実践などについて、 思いを語 般社団法人 Future Skills Project(FSP) 研究会の安西祐一郎理事長は「これからの時代

大学と企業が連携し講座を実践 い授業形態を発見、開発

材なのでしょうか。今後いるのは、どのような人 の社会で活躍できる人材 こは、どんな大学生像で 社会が、企業が求めて 一を積み重ねてきました。 らす』で、とことん議論 主体性を

を育てる もつ学生

|れば、大学での学業も社 私は「主体性」がなけ 分は何をしたいのか分か らないということです。

|が目指すところは、まさ| |会に出ていく企業への貢 ます。大学と企業お互い 献もできないと思ってい に学生はどうしたら「主 ことができていません。 を自分で見つけるという し、実践する力」だと思い これは大人の責任だと思 ます。特に、自分の目標 の目標を自分で見いだ 私は「主体性」とは「自分

きていないということで を引き出し、新しい授業 趣旨は、学生の「主体性」 す。FSP研究会創設の ような学習方法を開発で 特徴です。1年のときは 座を始めることが大きな を行っています。 まず、大学1年から講

|条)、高校 (第62条) でも| 今の高校生は目標がな 準用されています。よく からないと言います。自 い、何をしていいのか分 |趣旨を十分理解して参加 った学生を育てるという ところにあります。 してもらっています。 企業 を見いだし」て、1学期

講座は大 1 年

目標をもつことができる います。つまり、学生が |り実践』の合言葉で授業 して優れた授業方法を独 した。研究会は "議論よ 自に発見、開発してきま からの時代の教育方法と 行錯誤を積み重ね、これ FSP研究会では、

26年4月に一般社団法

月にFSP研究会(平成

そこで、2010年7

創設当時のメンバーとし 人)を立ち上げました。

できるかどうかというこ 体性」を発揮することが

> 生生活の後がなくなった 身につけるためには、学 す。しかし、「主体性」を 外、という意見もありま に参画するのはもっての 企業が1年生の授業

学年の時期の方が適切 3年生、4年生よりも低 しかも春学期からが

ジできます。 の企業が関わっていま 一答えのない問題に答え 学生がチームを組んで 学生は2回チャレン

早くからもつことができ 最適です。「主体性」を 学問を、大学でどうして す。1学期の間に各週、 も学びたくなると思いま れば、社会に出て必要な 一つのセッションで別々

ルの必要性を自覚するこ 学生は個々で知識やスキ とができます。

の時間を設けています。 とともに、「振り返り」 ゼンテーション、最終プションごとに、中間プレ レゼンテーションを行う 行うことを組み合わせま 9。1学期の二つのセッ ムワークの組み替えを 体性」は引き出されにく 取ることになります。 の授業ですので、単位を では本当の意味での「主 なる企業からの出前授業 いと思います。 この講座は指導方法の また、この講座は正課 単 ニュアル」を開発してい

や、講師の

自分の進むべ

のステップを自分で振り 汎を目指し、学生が自分 のです。 ケーションの質を維持、 向上させることができる

師、学生同士のコミュニ |業のレベルや、学生と講| ます。これによって、授 す。FSP講座を受講し を なのか 気がついてきま ま方向が どのような 分野 は大変だったけれど、 た学生たちからは「講座

ことの必要性がよく分か 会の厳しさがよく分かっ た」「大学での学問する

返ることのできる「ノー と社会で通用しないと分 学生は本当に頑張らない 講座を受けることで、 かれます。 った」という声が多く聞

社会に求められる人材 高校、大学があ「主体性」の前重

における人材育成においります。 特に高校、大学

思います。

て「主体性」は重要だと

|力育成シンポジウム20 近くになり、2015年 日、明治大学で開催)の 催、2014年11月19 14」(FSP研究会主 ります。「産学協同就業 3月に1期生が社会に出 て活躍していくことにな 受講した学生は2千人 せられました。 た。東京圏だけでなく、 この研究会は201

の二つのセッションでチ | た」など多くの反響が寄 | るまでに拡大していま | は全く異なる時代が始ま アンケートでは、「学生 の成長ぶりに感銘を受け 学がFSP講座を実践す り、約40の企業、20の大 の設置形態も多岐にわた 規模・分野・地域、大学 ています。企業や大学の でもFSP講座は始まっ 東海、北陸、関西の地域 年で5年目を迎えまし |働する力をもたらしま| じる力、多様な人々と協 動力は「主体性」です。 す。これから、今までと だと思います。学びの原 「主体性」は人の心を感

働する力をもった人材」 をもって多様な人々と協 られる人材とは「主体性 これからの社会に求め 私自身の好きな言葉は 期一会です。

|な人生を送る」というこ | 少年少女一人一人が自信 一いと思います。 その実現に努力している 来に向かって夢を描き、 とを大切にしたいと思い にあふれた実り多い幸せ 会う人たちは大事にした しかない人生ですから、 教育については、「将

FSP研究会 をさせることにより、 特徴は、失敗する体験 外にもチームで課題を に学んだ内容や感想を

FSP講座の最大の く、

学生は授業時間以 ョンシート」にその日

から受講 で結成された。現在、 か」をテーマに、20 どのように育成すべき 会で活躍できる人材を 10年に5大学6企業 FSP研究会は「社

自分に何が足りない

検討している。

記入する。最終プレゼ

ている。

FSP研究会の主な

の学びへの橋渡しをし

1年生後期以降

か、卒業までに何を身 二つの企業から課題が り返り」の時間を取

講座は前半と後半の ンテーション後に「振

出される。二つ目の企

る。これを、常にチー

授業、教材開発、 活動内容は、産学協同

研修

講演、研究活動

及ぶ。 は何か」を議論し、 出し、大学4年間の学 決策を企業にプレゼン 複数の役割を経験させ 生の「主体性」を引き 人でチームを組み、解 の力を自覚するために めることを狙う。 実践企業は約40企業に 実践大学は約20大学、

「学生に必要な力と

講座は原則として14

時点で気づ

かせること

年生前期の を、大学1 につければいいのか

講座では社会で必要な力 とのギャップに気づかせる

氏。事務局は㈱ベネッ理事長は安西祐一郎

セコーポレーション内

FSP研究会

2

学

コマで、学生は5~7 ことがポイント。自分 よって、学びをより深

1

fsp@mail.benes

3 (53320) 130

業でチーム替えをする ム内で共有することに

が実践者 答した。 として回 メンバー

ッセコーポレーションの 座の実践報告が行われ の松本隆氏からFSP講 大学事業部事業開発課長 また、第二部では「F 告が行われた。 業や大学からの実践報 で、講座に関わった企 SP講座 いざ社会へ」のテーマ 第1期生、 長の約7割が学力低下・ 書をまとめた。大学学科 所はこのほど、「高大接 続に関する調査」の報告 ベネッセ教育総合研究

また、Q&Aセッシ

る」との回答は全体で67

と」が「問題になってい

る大学は52・5%、高校

は67・1%で半数を超え

に対し からの疑 は、会場 ョンで て、 F S

P研究会 長2012人 学力差を問題視している た。大学の授業を通して 校長1228 から回答を得 人と大学学科 た。調査は平成25年11~ ことなどが明らかになっ 12月に実施。全国の高校 て高かった。また、1年 ベネッセ 調 査 高大接続に関大学学科長報告 約7割が学力低下等題 生の学力について「高校 た生徒がいる高校(全体 %、公立40・8%に対し ・4%で、国立46・8 ・8%。私立に限ると77 いて、高校側がどのよう 提供する入学前教育につ 試による合格者に対して た。大学が推薦・AOt

前教育を受け

かを尋ねた質 に感じている

低くなっていること」が り」と「まあ」の合計(以 との回答は全体で32・3 以前より学生の学力が 問題になっている」と 理解が不足している学 設置者別では国立68 %。私立に限ると41・3 %となった。 生」が「半分以上」いる べき教科・科目の知識・ の教育課程で身につける る」と回答するなど、 い」と回答。83・0%が の69・5%)の81・7% 前教育を充実させてほし が「大学にはもっと入学 学者教育への期待の高さ 「生徒の学習意欲が上が

わ

交換会が第三部で

回答した大学は、「かな 下同) で全体の75・8

が明らかになった。